



「こんにちは 市長です」 6月1日号

ワクチン配布が決まってきた。5月中に4万5千回分、6月21日の週までに6万2千回分。主に65歳以上の高齢者接種分が供給される。75の医院などで個別接種、そして市民会館、行政センターなどで集団接種が行われる。なお集団接種だけに協力していただく医師もいる。8月までずれ込むことも考えられるが、3カ月間で希望者全員の接種完了を目指したい。5月末までに調査はがきを返信してもらった順に整理し、市役所職員（コーディネーター）から各自に接種場所、日時を連絡することになる。高齢者施設では5月中に、一般高齢者は6月第1週から接種が始まる。

昨年、安倍前首相が「学校の休校」を全国に発した最初の緊急事態宣言時には新型コロナがこれほど恐ろしいとは思ってもみなかった。今年3月の宣言解除に際して菅首相は「再び宣言を出さないようにするのが私の責務」と言っていたが、東京、大阪などでは3度目の宣言となってしまった。この間、市としても食事券、プレミアム金券など多くの支援策を実施してきた。政府の個人向け支援策である「特例貸付」はすでに8400億円を超えた。暮らしに困る人たちが増えているということだ。地方自治体では国のようなことはできない。とはいえ、苦しさを耐え忍んでいる人に少しの笑顔が見られるようにならできる。先月の庁議（部長たちを集めての会議）の際「教育、医療、介護などで生活に不安を感じながら生きている人たちへ市独自の対応を考えよう」という提案をした。

そんなに大げさなものでもなくていい。コロナ禍を背景にするものであって時限的であっていい。部長からの答えを待って、できるだけ実施に移していきたい。（5/11記）